

こんにちは 議会です

 紀の川市議会だより

平成23年[2011]2月1日発行

No.16

- 定例会報告……………P 2
- 市政を問う（一般質問）……………P 4
- 視察報告……………P10
- もっと知ろう市議会……………P13
- [特集] 紀の川市の歴史を散歩 Part 9……………P14

災害のない1年に

平成22年第4回定例会

平成22年第4回定例会は、11月26日から12月16日までの21日間の会期で開かれました。

本定例会では、24件の議案が提出され慎重に審議した結果、すべて原案どおり承認・可決しました。

また一般質問では、9名の議員が登壇し当面の行政課題を質しました。

主な議決事項

- ・人権擁護委員の推薦（1件）
 - ・教育委員会委員の任命（1件）
 - ・紀の川市職員の給与に関する条例の一部改正
 - ・紀の川市無線通信用施設の設置及び管理に関する条例制定
 - ・紀の川市文化施設条例の制定
 - ・紀の川市公民館条例の一部改正
 - ・紀の川市道路線の認定（那賀打田線）
 - ・「市道井田中ノ才線道路改良橋梁上部工事」請負契約の締結
- 指名競争入札により落札した株式会社豊工業所と、5億9千569万5千450円で請負契約を締結することを議決しました。平成24年7月末完了予定です。



- ・「粉河中学校移転改築造成工事」請負契約の締結

指名競争入札により落札した清水建設株式会社と、5億593万2千円で請負契約を締結することを議決しました。平成23年10月末完了予定です。

この議案には、現地で建替えた場合、この造成費の支出は不要であるという反対討論がありました。これに対し、造成費の予算はすでに議会（平成22年3月）で可決されており、今回の契約に関する入札も適正に執行されているという賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で可決されました。

- ・「打田中学校校舎改築工事」請負契約の締結

指名競争入札により落札した大豊建設株式会社と、16億7千253万7千650円で請負契約を締結することを議決しました。平成24年11月末完了予定です。

「食育のまち紀の川市」宣言

近畿ではじめて「食育のまち宣言」を行いました。次の5つの柱を中心に、市民全世代にわたっての食育を推進していきます。

- ◎食事はおいしく、楽しみながらとりましょう。
- ◎生活リズムを整え、バランスのとれた食生活習慣に心がけましょう。
- ◎食の安全に対する知識を身につけましょう。
- ◎紀の川市でとれた食材を活用しましょう。
- ◎食育への関心を深めましょう。

生き生き食育

活き活き食材



平成22年度一般会計補正予算

予防接種事業

日本脳炎の予防接種勧奨を控えていましたが、より安全な新ワクチンの開発により接種を勧めることができるようになりました。また、高齢者のインフルエンザの予防接種もより効果的に受けていただくやすくなりました。
(2千370万8千円)

都市公園整備事業

平池（貴志川町）に噴水1基を増設し、観光地としての魅力を高めます。
(500万円)



▶美しい水に親しむ公園

県営ため池等整備事業

西山大池（貴志川町西山）、別所池（西三谷）、調月曾池（桃山町調月）の改修を行い、安全で利用しやすいため池を地域で守っていくとする事業です。
(656万9千円)



▶みんなでため池を守ろう。こいやフナを移動しました。（西山大池）

いっぱん質問

市政を問う

阪中 晃 議員

- 教育行政について
- 保育所の再編について
- 紀の川市の美化の取り組みについて

寺西 健次 議員

- 来年度予算編成について
- 幹線道路の歩道の整備について

川原 一泰 議員

- 成年後見人の育成について

森田 幾久 議員

- 第70回 国民体育大会「紀の国わかやま国体」について

今西 敏文 議員

- 生活排水処理施設の現状と今後の対策について
- 水道使用料について

吉田 隆三郎 議員

- 鳥獣被害防止特別措置法に基づく市の取り組みについて
- 道路の安全対策について
- 地域巡回バス、紀の川コミュニティバスの利用について
- 遊歩道の整備について

岡田 勉 議員

- 高齢者施策と介護保険制度について

高田 英亮 議員

- 森林観光レクリエーション施設の整備について
- 観光の振興と街の活性化について

石井 仁 議員

- 公立保育所の再編計画について
- 紀の川市を内外にアピールするアイテムとしてのふるさと納税について

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので市議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 77-0892)

自信と夢のある子どもたちを

問

新たに教育長に就任され、この紀の川市の教育行政をどのように導こうと考えているのか。

答 教育長

社会環境の大きな変化や物質的な豊かさの中で、子ども達は欲求を抑制したり、他者をおもいやつたりするなど、人間として大切なものを見失いがちになっている。

このような状況を踏まえ、教育委員会では、児童生徒の「豊かな心」を育成するために、学校を拠点に、教職員、保護者、地域の方々が一体となって課題に取り組むことを進めている。取り組みの中で、ふるさと「紀の川市」に愛着と誇りを持ち、未来を担うという自信と

夢のある子どもを育てていきたい。

「豊かな心」や「豊かな感性」をはぐくむ教育の充実に取り組んでいる。※毎年教育委員会が研究校を指定し、研究成果の普及と学力向上・指導力向上に努めている。※4名の指導主事を配し、「学校力」「教師力」「家庭力」「地域力」を支援し、学校教育の充実を図る。

※安全面に関しては、校舍建築や耐震補強工事を積極的に推し進めているが、市内全校にいきわたるには、もう少し時間がかかる。

※教育委員会の指針については、校長会で示し、全職員に周知を図っている。

教育はハードの面はよく見えるが、ソフトの面はなかなか見えないと言われる。教育活動の大事な事の一つに継続する力が求められており、数年後の子どもの姿や将来の



阪中 晃 議員

あるべき姿を思い浮かべ

ながら見通しをもった教育行政施策を展開していきたいと考えている。

保育所の再編

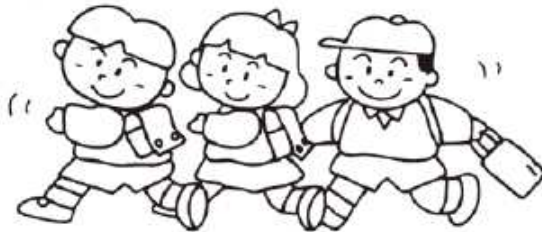
問

保育所の再編を進めるには、十分気を配り、説明に努める必要があるのでは。

答

保健福祉部長

十分気を配り、保護者や、地域の人々に理解をいたいただきながら進めていく。



ワクチンの無料接種を

問

来年度予算編成方針と予算規模の見込みは。

答 総務部長

長期総合計画に基づき施策を実施する予算を盛り込み創意と工夫により、健全な財政運営を目指す予算編成を行う。

新庁舎建設等普通建設事業費の増加にともない、予算規模も増加すると予測している。

問

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ菌ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの費用は、来年度国や県から助成されるので幼児や女性の健康を守るため、対象者には無料で接種できるように取り組むべきでは。

答

市長・保健福祉部長

ヒブ菌、小児用肺炎球菌ワクチンは実施に向けて検討している。

子宮頸がん予防ワクチンは、歴史が浅く日本での安全性や有効性の実績も少ないが、近隣市町村の状況を見ながら、安全な実施を考えていきたい。

答

市長・建設部長

国や県に対し歩道整備を強く要請してきた。その結果国道、県道等において少しずつ歩道が整備されている。

今後も地域の協力を得ながら早期に歩道整備に努めたい。

問

粉河とんまか通りの歩道のタイルがはがれ、歩行者にとって危険であり、早急な対策が望まれるが、

答

建設部長

県に状況報告を行ない、現場確認を実施した結果、早急に対応すると回答を得た。

幹線道路の歩道整備を

問

幹線道路の国道、県道等の旧町境界周辺に、歩道の未整備区間がある。通学等、歩行者の安全対策上歩道整備が必要と考えるが、今後の計画と取り組みは。



▲ 粉河とんまか通り



川原 一泰 議員

成年後見人の育成

問

成年後見制度の支援を受ける人は、全国でここ10年間に13万人に達すると言われ、今もなお増える傾向にある。

認知症や知的障害など判断能力がほとんどない人、事故により脳に障害を持つ人が悪徳商法などの被害に遭わないよう財産管理をする第三者を、紀の川市に在住の人から市が推薦し、家庭裁判所から選任を受ける成年後見人の育成をしていくべきではないか。

答

保健福祉部長

認知症や知的障害等があつて判断能力が不十分な方の権利を守るための

援助者（成年後見人）を選任し、本人を法的に支援するのが成年後見制度である。

後見開始の審判を家庭裁判所に申し立てた家庭裁判所の審判の結果、後見人が選任される。

この申し立ては本人・配偶者及び四親等内の親族ができるが、本人が申し立てをできる状態ではなく親族がない場合は法律により市町村長が申し立てできる。

後見人は本人の財産の管理や支払い契約などを本人に代つて行うが定期的にその内容を家庭裁判所に報告する義務があり、不動産の処分等は家庭裁判所の許可を受けなければ行えない。市ではこの業務について障害福祉課

と高齢介護課で対応している。

成年後見人の育成については県の委託事業として平成20年度から県社会福祉協議会で市民後見人の講習会を実施しており、紀の川市から3名の受講者がある。ただ和歌山家庭裁判所では市民後見人資格者を未だ後見人として認めておらず、今しばらくは時間が必要と考え

合併後この制度による市長申し立てで後見を受けている方は障害福祉課関係で9名、高齢介護課関係では1名で申請準備中の方は2名である。今後成年後見制度の支援が必要な市民の助けとなるよう努めていく。



森田 幾久 議員

青洲の里に宿泊施設を

問

平成27年の国体において、紀の川市での実施競技は何か。

答

教育部長

サッカー成年男子が桃源郷運動公園、ソフトボール成年男子と成年女子が粉河運動場、ソフトボール少年男子が貴志川スポーツ公園野球場とソフトボール場、ハンドボール成年男子が打田体育館で行われる。

問

国体を単なるスポーツ大会にするのではなく、早急に準備室を設置し、地域活性化の原動力となるよう活かすべきでは。

答

市長・教育部長

来年度早期に準備室を立ち上げる。人数は確定していないが、県と連携をとつていく。

問

選手及び関係者は、市内に宿泊となつて宿泊予想人数及び対応は。

答

教育部長

約千人が宿泊の見込みであり、現存の市内の宿泊施設では184しか対応できないので、約800人が民泊となる計画である。

問

国体だけの対応でなく貴志川球場や桃源郷運動公園の利用を高めるためにも、青洲の里に宿泊施設を建設してはどうか。

答

市長

今後市内に、研修ができるような宿泊施設を考へていく。

パークゴルフをしよう

問

パークゴルフ場を建設し、デモンストラーションスポーツ大会を開催してはどうか。

答

市長

来年度には、用地を決めて計画していきたい。



パークゴルフの様子

問 竜門地区にも上水道を

市の上水道の普及率は94.5%と高くなっているが、未普及地もあり、竜門地区は28.7%と極端に低くなっている。地下水、雨水の汚染も心配されるが、今後の市の対応は。

答 市長・水道部長

水道未普及地では、地元管理の飲料水供給施設や、個人の井戸水、谷水等を利用して現況で、施設の老朽化や雨が降れば濁るところもあると聞いている。安全、安心な水道供給を望んでいる多くの市民がおられることは認識している。地元区長さんはじめ、役員さんと十分相談しながら、早急に考えていかなければならない問題である。



今西 敏文 議員

問 市の公共下水道計画は

問

平成21年度県の汚水処理構想見直しに際し、市も公共下水道整備の計画を見直し、市役所等公共性が高く、人口が密集している区域としているが、その周辺で人口も多いのに除外されたのはなぜか。また、費用対効果により農業集落排水事業が計画されている遠方、東西川原、切畑地区への対応は。

答

市長・建設部長
農林商工部長
市民部長

またそれ以外の合併浄化槽が計画されている地区の設置補助は。人口減少など社会情勢の変化を見ずえ新たな紀



地元が運営する飲料水供給施設

の川市下水道事業計画の策定作業と合わせて、下水道については今回構想から外れた区域についても状況により再編入される事もある。農業集落排水事業予定3地区についても、整備するかどうか地元の意向を確認して進めていきたいと思う。合併浄化槽の県の補助金見直しについては、県浄化槽普及促進協議会、市長会を通じて平成24年度以降も継続を強く要望していく。設置整備事業補助金については、汚水処理人口、合併浄化槽普及率を考え、検討する必要がある。

問 有害鳥獣被害の対策を

問

鳥獣による農業被害は、深刻な状況にある。被害防止対策は、効果的に行われているか。有害鳥獣の捕獲を猟友会に委託しているが、高齢化と銃所持も厳しくなり、担い手不足の状況である。

答 農林商工部長

平成20年に鳥獣被害防止計画を作成し、被害対策を鋭意行っている。電気柵等での防護対策や、猟友会に委託して有害鳥獣捕獲を行っている。猟友会員の後継者対策は、重要な問題と認識し



吉田 隆三郎 議員

ており、会と連携しながら解決していきたい。生態や繁殖条件調査は、アライグマ、イノシシの生息域のマッピングを進めるとともに、近大生物理工学部にも情報提供し、調査を進めている。広域的な被害防止対策は、県並びに近隣市町、さらに大阪府の関係市町とも連携を図り、広域的かつ合理的な防止対策を見出したい。

問 避難道路は安全第一に

問

平成21年8月の台風9号で、兵庫県佐用町では、18名の犠牲者が出ている。原因として、住民が避難中に排水路に足をとられて流されたものと、報じられている。

この災害を教訓として、危険が予想される所への安全対策



道路上の樋門閉鎖装置 (貴志川町)

答 建設部長

水害時の安全対策として、道路と水路を明確にするため、ポール等の設置も検討していきたい。道路上の障害物については、地元関係者と協議を進め、危険箇所の確認と対策方法を検討する。

が必要だが、道路が水没して、排水路との区別がつかない所に、ポールや柵等を設ける対策を講じてはどうか。貴志川町の道路上に、水路の樋門閉鎖装置が設置されている所がある。災害時には特に危険であり、安全対策を講じては



岡田 勉 議員

高齢者がいきいきと

問

本市も、高齢化率が25%をこえ4人に1人が65才以上の高齢者である。高齢になっても、要介護状態にならないために、高齢者同士が支えあう、地域づくりの事業としてボランティア活動があり、社会参加や地域貢献をすることで生きがいや、介護予防にもつながるボランティアポイント事業を導入する自治体が増えている。

答 保健福祉部長

高齢者同士が支えるボランティア事業を鳴門市が取

り組んでいる。そのようなボランティアに参加した時にポイントを加算した後々ボランティア参加者が少しでも前向きな気持ちになつたがるような施策を今後とも考えていかなければならない。

問

このような事業を実施することによって、高齢者の方が要介護状態になることなく元気に暮らすことができれば本人にとつても良い事だし、行政にとつても良い事だと考えるがどうか。

答

保健福祉部長
健康につながるという話をもっともだと思つたアイデアを提案頂いたの

で本市としても担当課とも協議しながら考えてみたい。

問

ボランティア事業は本人のためにも良いと思うし、行政にとつてもプラスになる。この事について市長の考えは。

答

市長
元気な時は何か趣味やグループなりの楽しみが大事であり、それらを、生きがいとしてどう持っていたか、大きな課題だと思つている。議員から提案のあつた事も参考にしながら担当課において色々考えていくことにしたい。



高田 英亮 議員

問

青少年の豊かな人間性を養うため、紀北青少年の家のような研修や体験学習のできる施設が紀の川市にも必要と思うが。

答

教育部長
現在、近隣の自治体の関連施設を利用させていたが、様々な体験学習を実施し成果を挙げている。

答

市長
旧町時代から子どもの体験学習ができる施設を造りたいと思つてきた。この広い紀の川市のなか



で、公共施設や休校になつていける学校も活用しながら考えていく。

貴志川のまちを元気に

問

貴志川地域の観光振興とまちの活性化についてどのような施策を考えているか。例えば産業まつりや道路網の整備は。

答

農林商工部長
大池遊園、貴志川線とのネットワークのなかで活性化の方策を検討していく。

答

建設部長
道路は地域活性化を図る重要な基盤である。現在諸井橋本体の架け替え、県道泉佐野岩出線の南伸ルート早期事業化、国道424号の調月地区から貴志川をまたぎ、前田地区から県道泉佐野岩出線の南伸ルート計画線まで

計画している。

和歌山南IC(仮称)の実現は

問

合併前から実現に向けて運動を進めてきた阪和自動車道と和歌山南IC(仮称)は。

答

市長
阪和自動車道森小手穂IC建設の夢は捨てていない。国に陳情し、前向きな回答をいただいている。今、ETCにより比較的簡単に和歌山北ICのようなIC建設が可能である。紀の川市の西部地域の発展につながるIC実現に向けがんばっていく。

泉佐野岩出線の南伸についても旧町時代から船戸山を貫通するトンネルの仮の図面までできていた。今後は紀の川市全体の事を考え、まずは府県間道路等を積極的に進めていきながら岩出野上線の問題も並行して進めていく。



なぜ保育所民営化か

問

「紀の川市公立保育所再編計画書」によれば、第一次再編計画として、平成24年度には名手保育所を民営化し、調月保育所を廃止する。

25年度には、安楽川保育所を民営化し、八王子保育所を廃止する。

さらに27年度民営化の予定として、瀬戸へき地保育所以外の旧粉河町の公立保育所の3園の統廃合と民営化を検討しているが、なぜ民営化なのか。

答

保健福祉部長

限られた財源と人員で、保育料を国の基準よりも抑えたり、3人目の子どもなど、無料化をしたりするなど、独自の施策を継続していくために、統合や

民営化という手段によつて、保育所を再編し、安定した保育所運営ができるよう考えていくことが必要である。

問

旧町単位で一つしかない保育所を民営化した場合に、民間の保育実践に合わない子どもは、校区も越えたところに行くしかないということが起こるのではないか。

答

保健福祉部長

民間が公立に劣る部分があるとすれば、行政で補いしていかなければならない。

気になる子どもへの対応は、指導と施策の補いで、今の公立保育所よりいい民営の施設にすべく精一杯努力していきたい。

あらゆる努力が先

問

コスト論からの「保育所再編」はあらゆる努力をした上で検討すべきことであり、現在はその段階ではないと考えるが。

答

市長

いろいろな面で節約、行政改革をしていかなければならない一つとして、民営化ということも考えており、急いでやる必要はないといわれたが、私は、できるものから対応していくのが当然ではなからうかと思っている。



石井 仁 議員



虚礼廃止にご理解・ご協力を!

市議会では、公職選挙法等に基づき、虚礼を廃止した議員活動を行っています。具体的には、次のような項目です。市民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

- ◆冠婚葬祭、慶事、見舞いおよび各種行事等における寄付行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- ◆あいさつ状の禁止
- ◆議員名、議員団名および会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- ◆中元や歳暮の贈答はしない
- ◆お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

議会を傍聴してみませんか

市議会の定例会は、3・6・9・12月の年4回開催されています。

市議会では、市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されています。

市民の皆さんが選んだ議員の活動状況や、市政の内容を知るためにもぜひ本会議・委員会を傍聴にお越しください。

【傍聴手続き】

傍聴を希望される方は、当日受付で住所・氏名・年齢を記入していただき、入場してください。(本会議傍聴定員は、30人)

【受付場所】

本会議：本庁舎4階議会事務局
委員会：本庁舎南別館3階大会議室

日程など、詳しいことは、議会事務局(0736-77-0892)までお問い合わせください。

総務文教常任委員会 県外視察研修

総務文教常任委員会は10月27日・28日の両日、兵庫県三木市へ企業誘致についてと兵庫県篠山市へ市内小中学校の統廃合についてそれぞれ視察研修を行いました。

三木市は兵庫県の南部に位置し、人口8万2千人あまりで、市内を東西に中国自動車道が通り、また山陽自動車道三木東ICにも隣接し、神戸まで30分・大阪まで40分・神戸空港・伊丹空港までは35分と全国でもトップクラスの交通アクセスに優れた市であります。

三木市ではその高速交通基盤を生かし、独自の企業誘致推進制度を作っており、用地を探している企業に関する情報を募り、成約にいたった場合には、情報の提供者に一定額の報酬を支払う「三木市企業誘致報奨金制度」や誘致する企業に対応した助成制度として、特に健康飲料水を扱う世界的な企業に、年間11万

m³までの水道料金を30年間補助する助成制度を創設するなど積極的に企業誘致を行なっており、それらについて詳しい説明を受けました。

現在、全国的に企業誘致のための工業用地は超過供給の状態にあり、交通アクセスの良さだけでは企業の誘致は難しく、紀の川市においても、企業誘致を円滑に進めるためには思い切った市独自の取組みが大切であると感じました。

次に、篠山市は県中部に位置し、平成11年に平成の大合併のさきがけとして4町合併され誕生した、人口約4万5千人の市であります。

篠山市は、児童数の減少により、現在「篠山市学校教育改革5カ年・10カ年計画」を策定し、市内小中学校の適正配置問題に取り組んでおり、計画策定までの経緯や小中学校統廃合の取組み等について説明を受けまし

た。

特に、平成21年4月に3校の統合により誕生した城東小学校では統合までに年間約50回以上の住民説明会を実施するなど、地域のシンボルである小学校の統廃合については慎重にすすめており、保護者・地域住民・教職員・行政が一体となった取組みをしております。

今後、紀の川市においても児童数の減少が予想されるなかで、よりよい教育環境の提供や、効率的な学校運営を行ううえでは早急に対処していくべき課題であると認識いたしました。



三木市役所

環境対策調査特別委員会 県外視察研修

11月11日・12日の両日、岡山県和気町に事務所を置く「和気北部衛生施設組合」と、兵庫県上郡町に事務所を置く「にしはりま環境事務組合」を視察しました。

和気北部衛生施設組合は、備前市、赤磐市、和気町の2市1町で構成されてお

り、ごみ処理場、火葬場の他に温泉宿泊施設、全天候対応テニスコート、屋内ゲートボール場などの管理・運営も行っていました。

ごみ処理場建設の際、地元からの要望により温泉施設を建設したそうですが、ごみ処理場の建設費が約27億円であったのに対し、温泉施設は34億円かかっていたのには驚きました。

温泉施設は、平成11年のピーク時には年間37万人の利用客がありました。近年の不況や、近隣に民間の温泉施設が建ったことにより年々利用客も減り、平成21年には年

間18万人にまで落ち込んでいるため、毎年約2千万円積み立てを取り崩して運営しているとのこと

です。周辺整備による保養施設の運営には、十分な計画が必要であることを感じました。



和気北部クリーンセンター

にしはりま環境事務組合は、姫路市、たつの市、宍粟市、佐用町、上郡町の3市2町で構成され、圏域人口は約10万5千人の組合で、平成25年4月

の組合で、平成25年4月供用開始を目標に新ごみ処理場建設が進められていました。

今回の視察では、主に地元対応について尋ねましたが、建設工事に着手

するまで、地元住民を交えての検討委員会や説明会を何度となく開催したそうです。

ごみ処理場建設地周辺1km範囲内の6集落から、道路・水路の整備や補修、公民館・公園などの新築など75件の要望がありました。精査した結果、36件(事業費約13億8千万円)を承認しているとのことでした。

また、ごみ処理場には地域振興施設用地も確保しており、今後地域住民との話し合いの中で、どういった施設を建設するか決めるとのこと、地域とともに栄える施設を目指して行いました。



にしはりま環境事務組合

産業建設常任委員会 県外視察研修

産業建設常任委員会は、10月20日・21日、滋賀県東近江市と農事組合法人「万葉の郷 めかづか」へ視察研修を行いました。

東近江市は、平成18年1月1日に合併し、人口11万7千人で琵琶湖の東に位置しています。視察は、農業集落排水事業について行いました。

東近江市の農業集落排水事業の整備区域は、公共下水道区域として計画されましたが、事業期間が長期にわたるため、琵琶湖総合開発計画に組み入れられ、昭和57年度から事業を実施し、平成14年度までに52箇所

の処理施設が供用され、水洗化率は、98.6%です。処理場等は、各市町が整備し、地元の維

持管理組合が使用料の徴収、機器点検、清掃を行っている。今後は、公共下水道への接続を進め、農業集落排水事業で整備できない地区は、合併処理浄化槽の整備を行う計画で、紀の川市の農村の環境保全や公共下水道の整備を含めた公共用水域の水質保全を図っていく上で大変参考になりました。

「万葉の郷 めかづか」では、農産物の加工、特産物の販売による地域活性化の取り組みについて研修を行いました。

東近江市糠塚町は、農家戸数28戸、集落水田面積が31.5haあり、平成5年に「めかづか町生産組合」を立ち上げ、平成17年に農事組合法人を設立し、組合員32人で運営しています。

組合は、集落の地域資源を再編成するため、加入農家の農地をすべて借り受ける「集落一農場方式」により水稲、飼料作物、野菜の栽培を行い、地権者には、10a当り1万円

の借地料を支払い、組合員には、農作業の賃金を支払っています。生産した米は、組合が管理し、集落内の農家、非農

家に飯米として通常より安く提供しています。更に水稲の協業経営による省力化により女性や高齢者の作業が軽減され、加工部では女性8名が、米粉パンの製造等、農産物の加工・販売を行い、直売部では、高齢者による野菜の直売を行っており、集落のみんなが参加できる農業、地元で支持される集落営農を實踐し、集落の活性化につながっていました。



農業集落排水処理施設

「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への加入に反対する意見書」を提出

現在政府で、加入が検討されている「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)」は、原則すべての品目の関税を撤廃し、例外を認めず完全自由化させる協定であり、政府は、11月9日の閣議で「包括的経済連携に関する基本方針」を決定し、その中で、TPPについて関係国との協議を開始すると明記しています。

協定の加入に反対する意見書を内閣総理大臣はじめ関係省庁の大臣に提出しました。

ただ、国内農業に与える影響への懸念が強いことから参加判断を先送りしていますが、協定に加入すれば関税が撤廃され、農産物等の輸入の完全自由化により国内の農業は、「生産額の減少」、「食料自給率の低下」、「就業機会の減少」など、大きな打撃を受けると農林水産省が試算しており、農業を基幹産業としている紀の川市でも同様の事態が予測されます。このように地域経済の崩壊を招く恐れのある

① TPP (Trans-Pacific Partnership) って何?

国同士で人や物、お金の移動を自由にして経済を発展させようと、シンガポールやニュージーランドなど4カ国が2006年に締結した協定。太平洋を囲む米国やマレーシア、オーストラリア、バルーなども加わり、9カ国による締結交渉を進めている。

②なぜすぐ参加しないの?

日本に来る輸入品の価格が安くなると、農業など国内産業が衰退するとの反対が強い。日本は人件費などのコストが高く、農産物の国内と海外の価格差は牛肉で約3倍、米で約4倍の開きがある。輸入米には約7倍の関税をかけるなどして国内農業を保護しているが、保護がなくなると食料自給率が1.4%に低下すると農林水産省は試算している。

徳島県美馬市議会

10月13日、美馬市議会庁舎検討特別委員会の皆さんが、庁舎建設の取り組みについて視察に訪れました。

当市議会庁舎建設調査特別委員会副委員長から委員会の概要と取り組みを説明した後、担当部から当市の計画・経過と現状及び財源について説明し、意見交換を行いました。



美馬市議会庁舎検討特別委員会

熊本県人吉市議会

10月13日、人吉市議会無会派議員団の皆さんが、和歌山電鐵貴志川線の取り組みについて視察に訪れました。

市役所貴志川庁舎で、和歌山電鐵貴志川線の現状・経営経過・自治体の支援策等を説明し、「たま駅長」や「いちご電車」などの利用者を増やすための取り組みを紹介した後、完成した「貴志駅のみま駅舎」を見学しました。

皆さんは、貴志川線に乗車して当市に來られ、その現状を見て地域にとって本当に必要な鉄道を事業者と住民・行政が一体となって守っていることに大きな感銘を受けていました。

他市議会議員が 当市を視察に 訪れました。

広島県三原市議会（広報）

11月16日、三原市議会広報特別委員会の皆さんと当市議会広報編集特別委員会委員が、議会広報づくりについて意見交換を行いました。

広報紙づくりを通じて市民に議会の活動をわかりやすく伝えていくことが重要であるという認識を話し合う中で、委員会が中心となって市民の声を聞き、それを話し、書くことができるという議会議員としての意識を高めていこうという意見が出ました。



三原市議会広報特別委員会

石川県白山市議会（広報）

11月9日、白山市議会だより編集委員会の皆さんと当市議会広報編集特別委員会委員が、議会広報づくりについて意見交換を行いました。

お互いの広報紙を見比べながら、どのような広報紙にすれば市民に議会の活動をより分かってもらえるのか、読みやすい紙面、写真の掲載など編集の過程で課題に感じている点を話し合いました。

特に、一般質問の記事の編集過程と特集記事の意義については、活発な意見交換があり、これからお互いによりよい広報紙づくりをめざすことを確認しました。



白山市議会だより編集委員会

もっと知ろう 市議会

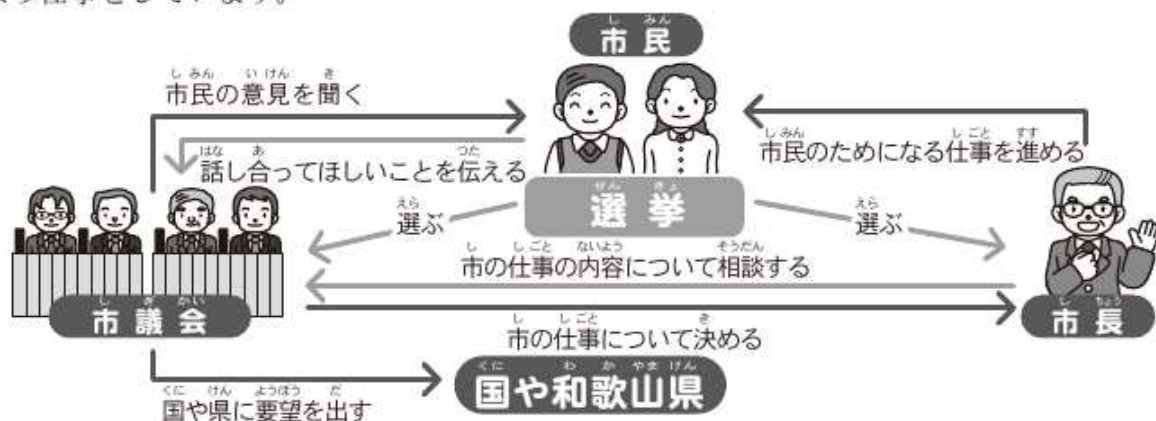
市議会って？

わたしたちの「紀の川市」を住みよいまちにするためには、みんなでどうすればよいか考えていかなければなりません。でも、市民全員が同じ場所に集まり話し合ってもまとまりません。

そこで、みんなの代表となる人（市議会議員）を選挙で選び、議員の集まり（市議会）の中で市の仕事について話し合ってもらいます。また、議員とは別に市の仕事を計画・実行する市長も選挙で選びます。

市議会では、市長が計画した仕事やお金の使い方などについて、それでよいかどうかを話しあって決めます。市長は、市議会で決まったことを実行します。

市議会と市長は対等の立場で、お互いに意見を出し合いながら、紀の川市がよりよいまちになるよう仕事をしています。



市議会議員って

紀の川市議会には、24名の議員がいます。

4年ごとに市民の選挙により選ばれます。

今の任期は、平成21年12月11日から平成25年12月10日までです。

議長と副議長って

議長と副議長は、24名の議員の中から選挙で選ばれます。

議長は、市議会の代表者です。議長は、市議会を円滑に運営するため、みんなの意見をとりまとめたり、市議会の代表として会議に出席したりします。

副議長は、議長の仕事を助けたり、議長がいないときに議長のかわりをします。

議会の予算

平成22年度紀の川市の予算（285億8千万円）の内、議会の予算は2億3,637万円です。

全体の0.8%となっています。（その内容は議会事務局職員人件費、議員報酬、議会運営費です。）

特集

紀の川市の歴史を散歩 Part9

史跡紀伊国分寺跡歴史公園全体図

紀の川市の西部、岩出市と接する東国分に『史跡紀伊国分寺跡歴史公園』があります。

天平13年(741)聖武天皇より、仏教による鎮護国家の考えのもと、地方政治の安定と文化の興隆を目指して建立の詔が全国68箇所に出されました。

紀伊の国に唯一建立された国分寺は、国華として仰ぎ見るのによい南面した地形で、水害の憂いなく人家の雑踏から離れ、また人が参集するのに便利な交通路に近く、大和より紀伊を通り淡路・阿波への官道(現在の国道のようなもの)南海道に近いこの地に建立されました。

創建期には2町四方(220m四方)の広さがあり、現在はそのほとんどが国の史跡に指定され保存されています。

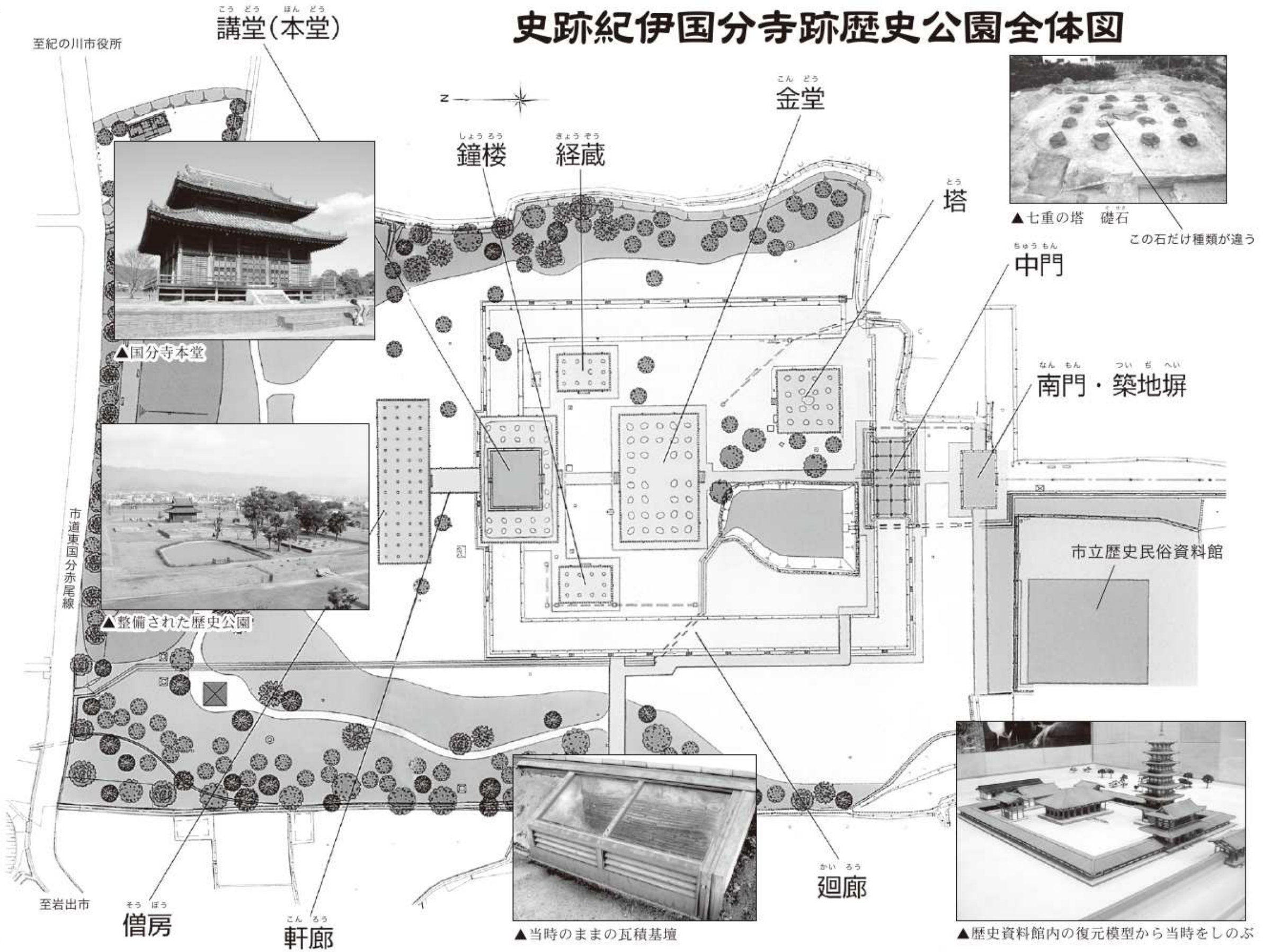
元慶3年(879)その全てを焼失し、その後すぐに一部の建物が復興され12世紀後半まで国分寺の機能を果たしてきました。しかし律令体制の崩壊や新興の真言密教等他の宗派に押され徐々に衰退していきます。その後の14世紀前半には小規模な本堂が、15世紀頃には一回り大きな本堂が再建されましたが、これも天正13年(1585)羽柴秀吉の紀州攻めの際、焼き討ち(戦乱等)にあい焼失しました。

現在の本堂は元禄13年(1700)に再建されたもので『八光山医王院国分寺』(新義真言宗蓮花院末寺)です。

紀伊国分寺跡の特徴は1200年前の創建当時高さ約50mあったとされる七重の塔の礎石(17個)が旧状を保って残っていることです。また、その周りには一辺16.39m高さ1.2mの瓦積基壇があり、現在もその一部がそのまま見られます。

整備された公園に立ち、伽藍建物跡を見て当時の存在感を体験してほしいと思います。

筆者としては塔の礎石の一つだけが石英の様であるのが何故なのか不思議で仕方ないところです。



▲七重の塔 礎石
この石だけ種類が違う



▲国分寺本堂



▲整備された歴史公園



▲当時のままの瓦積基壇



▲歴史資料館内の復元模型から当時をしのぶ



晴れやかな成人の門出



みんなで作りしました (きしべの里)



べったん・べったん お正月の準備 (粉河保育園)



七草粥まつり (青洲の里)



青洲太鼓結成



清々しく卯年の初釜

編集後記

今年も「政治とカネ」に関することや、またかというような事件がマスコミを賑わすのかと思っていた。しかし漫画で主人公になった人たちの登場である。タイガーマスクをなめる人が、児童養護施設や児童相談所の前にランドセルや文房具などを置いていくという心和むニュースである。三重のタイガーマスクがのこした手紙には「子どもは国の宝です」とあった。本市においても人口減少が続く中、成人式では、粉河ふるさとセンター大ホールが若者でいっぱいになった。この若者達が地域に残れて「宝」である子どもを育てやすい施策が求められている。そのため知恵を出しあいたい。

最後に議会広報の編集にたずさわるとして、今後とも読んでもらいやすい紙面づくりに力をつくし、今年こそは近畿市町村広報紙コンクールで、最優秀賞をめざして大きくジャンプしたい。(T・O)

